



みんなの期待を乗せて!!

気軽に乗れるデマンドバス路線を

再実証運行で検討する予定です



買い物、行政手続き、金融機関、病院通い等、生活に必要な事ができにくくなっている。

香美町民バス小代線デマンド化は、区民にとっても大変、関心の深いところである。

①デマンド化の試験運行の結果は
②評価は

③今後の展開は
町長 デマンド実証運行は、小代区民にとって高い利便性、効率的な交通体系を目指し行いました。

①試験日数は15日間、実利用者は11人、延べ利用件数は41件で小学生の通学20、中学生通学1、一般利用20件、う

ち16件が小代診療所への利用でした。

②限定した利用であり、通学を除くと、1日3人程度で年間900万円の経費を必要としており、効率的な運行を検討します。
③昨年とは条件を変更した再実証運行で小代区にとって最適な交通モードを検討する予定です。



藤井 昌彦 議員

高齢化が進み、自動車免許証返納により、高齢者や障害をもつ人の移動手段が問題。

男女がともに活躍できる社会へ



内閣府 男女共同 参画局

内閣府男女共同参画局シンボルマーク

第3次男女共同参画行動計画は 誰もがいきいきと輝ける町を目指して



小谷 康仁 議員

男女共同参画社会とは男女が社会の対等な構成員として自らの意思によって、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され男女が均等に政治的、経済的、

社会的及び文化的利益を享受することができ、共に責任を担うべき社会。

新たな計画を策定するためパブリックコメントを募集したが、結果はゼロとの報告。計画策定で変わった点、特に力を入れる点、本町ならではの点について伺います。

町長 平成19年3月に第1次計画、平成28年3月に第2次計画を策定し、男女共同参画社会の

形成に向けた取組を進めてきました。

第3次計画では、「誰もがいきいきと輝ける町を目指して」を基本理念として、誰もが共に参画する人づくり、誰もが働きやすい職場づくり、誰もが支え合う家庭と地域づくり、誰もが安心して暮らせるまちづくりの4つの重点目標を掲げ、取組を推進することとしています。